

複合改修工法 アドグラピンネット工法

アイワテック株式会社

〒116-0003 東京都荒川区南千住6-58-4
TEL 03-3802-8155 FAX 03-3802-7332
URL <https://www.aiwa-co.jp>
mail info@aiwa-co.jp



施工例（キッセイ文化ホール改修工事）



施工例（住友池袋駅前ビル外壁修繕工事）

概要

「アドグラピンネット工法」は、ピンネット工法で全面的なコンクリート、モルタル、タイルのはく落防止と下地の整形、保護層の作成を行い、その上をアドグラで石貼り状に仕上げる複合改修工法である。本工法で施工した建物は、東日本大震災でもタイルの落下・損傷は全くなく、地震に対する安全性が実証されている。

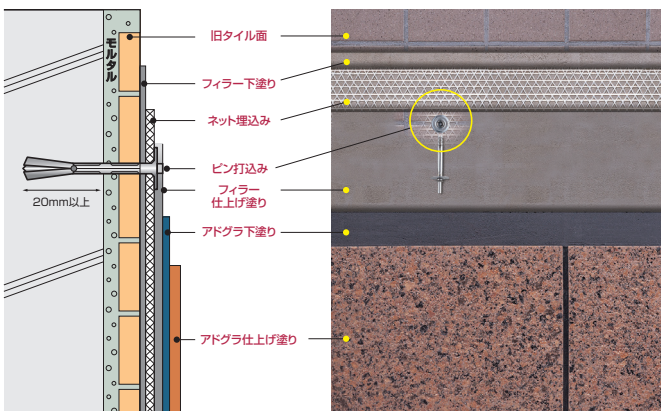
[ピンネット工法] 独立行政法人建築研究所長期暴露試験：20年経過時 ピン、フィラー、ネットともに劣化なし

[アドグラ] ①耐候性促進試験（JISA-6909）：2000h 耐候性1種相当 ②中性化促進試験：中性化深さ 60年経過時1mm、100年経過時2mm

特長

1. はく落防止は万全で長寿命（期待年数50年）。下地・仕上げともに安心の10年保証付き。
2. 美しく高級な石貼り状の仕上げでテナントの集客や資産価値の向上に役立つ。
3. ひび割れの発生を防ぎ、耐候性・防水性が向上する。
4. 騒音・臭気や廃棄物が発生せず、サッシや配管の移動も不要。
5. 曲面や円柱が美しく滑らかに仕上がる。

施工断面図・平面図（タイル下地の改修例）



施工状況



①大きな浮きやひび割れ、欠損等を補修しタイル目地を埋め、段差を平滑に修正する。



②プライマーを原液1：水2の割合で混合し、ローラー刷毛で塗布する。



③フィラーを塗り付けた直後、フィラーが硬化しない内にネットを張り、フィラーの中に金ゴテで埋め込む（ネット張り合わせ幅50mm以上）。



④アンカーピンの位置をマーキング後、径6.5mmの専用ドリルでアンカーピンの長さより5mm程度深く穿孔する。



⑤孔の内部を清掃後、所定の長さのアンカーピンを挿入し、打込み固定する。



⑥孔ピン頭部を拾い塗り後、フィラーを金ゴテで全面に塗り付け平滑に仕上げる。

施工実績

- ・施工地区：全国
- ・実績件数：10万㎡